

⑮高品質にこだわった天竜の碾茶で製茶問屋の輸出ニーズを下支え 【農事組合法人 天竜愛倶里ふぁーむ（浜松市）】

生産性向上

輸出

■活用した事業

「令和5年度補正 産地生産基盤パワーアップ事業」を活用し、レンガ式碾茶炉をはじめ碾茶加工ライン等の生産性向上を図るために整備を行った。

■経営の概況

浜松市天竜区で、平成20年に18名の仲間とともに「農事組合法人 天竜愛倶里ふぁーむ」を立ち上げた。
自社の茶園だけでなく、周辺地域で採れた茶葉も受け入れて碾茶を製造し、販売先のニーズに合う生産履歴の碾茶を地元JAを通じて供給している。

■取組内容

・施設整備

当法人では、既存の碾茶ラインに加えて、令和6年にレンガ造りの碾茶炉を新たに整備した。これにより、現在は1時間あたり100kgの処理能力を持つラインを2本体制で稼働させ、碾茶の製造を行っている。

碾茶ラインでは、乾燥や選別といった工程を、1行程あたり約40分で効率的に処理する。受け入れ対象となる生葉は、一番茶・二番茶・秋冬番茶だが、特に二番茶や秋冬番茶については、ラインの処理能力にまだ余裕があり、今後、受け入れ拡大を図りたいと考えている。

・海外対応できる碾茶

当法人では、生葉を持ち込む生産者に向けJA等と連携して作成したEU基準に基づく防除暦や被覆時期の資料を配布し、指導を行っている。また、生葉を出荷する際には、防除履歴の提出を必須としており、各生産者から提出された内容を確認している。

これらの情報をもとに、各国の農薬使用基準に照らし合わせながら、製茶問屋のニーズに合った安全・安心な碾茶を提供できるよう努めている。



2基のレンガ式碾茶炉

下段から出てきた茶葉



葉と茎に選別



碾茶

